
大野ベビーの野望

コメント

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大野ベビーの野望

【Nコード】

N6372I

【作者名】

コメット

【あらすじ】

かつて、悟空に葬られたベビーが復活し、遠呂智の作った世界を支配することになる……。

・ 始まり（前書き）

数話で終らせる予定なので、長くはならないです。

毎週日曜日に更新するつもりです。戦国無双のキャラのイメージが（洗脳によって）おかしくなっているので、注意。

・始まり

ツフル人の王・ベビーは、超サイヤ人4悟空によって太陽へ吹き飛ばされて死亡した・・・。

だれもがそう思ったかった・・・。

ベビー「ん・・・？どこだ、ここは！？」

そこは、どこかの城のようだ・・・。

遠呂智「やっと目覚めたか、ベビー・・・」

ベビー「お前は、誰だ！？」

遠呂智「我は遠呂智。お前を生き返らせた者だ」

ベビー「この俺を生き返らせて、どうするつもりだ・・・！？」

遠呂智「我の作った世界へ行ってもらう・・・」

ベビー「どんな世界なんだ！？」

遠呂智「戦国の世界だ」

遠呂智はそういうと、ベビーを戦国の世界へ送り込んだ！

ベビー「ぬう・・・。ここが遠呂智の言っていた世界か・・・？」

ベビーは早速、寄生する相手を見つけた！

まる子の同級生・大野くんである！

大野「おい、おっさん！そんなところにいたら、通行の邪魔だぜ！」

ベビー「（心の声：そうだ！こいつに寄生しよう・・・）」

ベビーはそう考え、大野に寄生し、大野ベビーと化した！！

大野ベビー「な、なんだこのパワーは！？

ベジータに寄生した時のような・・・！！！！」

大野ベビーはそういうと、早速あたりをブラブラした。

そんなことしているうちに、大野ベビーにある思いが込み上げてきた！

大野ベビー「（心の声：この世界の住人を、ツフル人にしてしまいか・・・！

そして、サイヤ人を絶滅させるチャンスを待とう・・・）」

大野ベビーは、そう考えると空を飛び、各地の武将達を洗脳した！

左近「まっ、ベビー様のために、人肌脱ぐか！」

大野ベビー「お前はこれから、島佐古を名乗れ！」

島佐古「ありがたきお言葉・・・」

三成「左近、どうしたんだ！？」

島佐古「なんだよ、お粗末大名が!!」

それを聞いた三成は愕然とした!

三成「左近・・・」

大野ベビー「ギーギーうるさい奴の居場所なぞ、ないのだよ!」

島佐古は大野ベビーと一緒にどこかへ行ってしまった・・・。

このあと、真田幸村や伊達政宗、直江兼継までもが洗脳された!

直江「フハハハハ!我々は不義の味方だ!!」

政宗「イヤッホー!ー!ベビー様、イケてるぜ!」

幸村「政宗殿、バサらないでくださいよ!」

大野ベビー「よし!奥州を拠点にするぞ!!」

こうして、大野ベビーは、真田幸村、伊達政宗、直江兼継、そして島佐古を味方に、戦国を支配することに決めた!

はたして、戦国無双とちびまる子の世界が一緒になった世界はどうなってしまうのだろうか・・・?

・ 始まり（後書き）

あの武将達があっけなく大野べビーの手下に！
どうする！？みんな！

ちなみに、戦国無双3の設定になるかも。

・越後の悪夢（前書き）

直江兼継のイメージが360度変わっているので注意。えっ？変わってないって！？んな馬鹿な！

しかし、天地人が終わったばかりだっていうのに……。愛というか、哀だ……。

・越後の悪夢

奥州を拠点にした大野ベビーは、近くにある越後を攻めることにした……。

大野ベビー「では、いくか……」

島佐古「ちよいとお待ちください大野ベビー様。

相手は越後の龍・上杉謙信だということを知らないんですか？
しかも軍神という異名を持つほどの戦を仕掛ける謙信の領地に、むやみやたらに攻め込もうという考え、お粗末ですねえ……」

大野ベビー「（心の声：ちっ、こいつは何を偉そうに……。
しかし、謙信とやら……そんなにすごいのか？）」

直江「大野ベビーどの、私も参りましょう。

私が行けば、謙信公も油断するでしょう」

島佐古「おいおい、軍神がお前の異変に気づかない訳がないだろう」

直江「お前に何がわかる！？

お前のような浪人より、謙信公に仕えていた私のほうが謙信公を理解している……！」

島佐古「けっ、とうとう脳が腐っちまったか。この烏賊が……！」

直江「烏賊なんていくら、言われても傷つかんな。

この、隠れデブが……！」

島佐古「俺がデブだと・・・！？

幸村、俺はデブか！？」

幸村「もつと情報を集めてからでも・・・」

大野ベビー「さっさと行く支度をしろ！！！」

こうして、大野ベビー達は越後へと赴いた！

そんなことなどまったく知らない謙信は、姉の綾御前と一緒に茶を飲んでいた・・・。

謙信「たまに飲む茶もよいものだ・・・」

綾御前「謙信、たまには私も戦の手伝いをしてあげようか？」

謙信「姉上・・・。冗談はよしてくれぬか・・・」

「冗談じゃないよ！

綾御前「謙信って、私よりも老け顔だから・・・。

先に死んじゃうんじゃないかって、いつも心配になっちゃうんだけど？」

謙信「姉上・・・。その屈辱、たえ→られ←ぬっ！！！」

すると、どこかへ行ってしまった直江兼継がやって来た！

謙信「兼継、今までどこに行っていたんだ？」

直江「謙信公、申し訳ありません・・・。

義を失ったからには、謝る必要などない!!!!」

兼継はそついうと、謙信を斬ろうとした！

しかし、謙信は難無く攻撃をかわした！

謙信「兼継、一体どうしたのだ？」

直江「うるせえ、この酒飲み淫乱殺人坊主が!!」

謙信「酒飲みと殺人は認めるが・・・。淫乱ではない!!」

直江「フハハハハ!!ならば、淫乱ドラゴンにしてやるつか!？」

謙信「淫乱デイベアを狙っているのか!？このブルードラゴンは・・・!!?」

直江「うつせえ!!死にくたばれ、このギーギー野郎!!」

謙信「ギーギー・・・?」

本当にどうしたんだ、義フェチの兼継よ」

ソラ「ルクソード、兼継はもう義将ではなくて、偽将なんだ・・・」

大野ベビー「おい、さっき一瞬光の勇者出てこなかったか？」

謙信「お前は何者だ？」

大野ベビー「ははは。俺の名は大野ベビー。この世界を支配するものだ」

謙信「ふん、お前なんかどうでもいい」

大野ベビー「ショック!!」

大野ベビーはどこかへ行ってしまった・・・。

謙信「まさか、兼継・・・。さっきの化け物に・・・?」

直江「そうだ!大野ベビー殿によってツフル人にももらったのだ!!」

私はツフル人の代理人。サイヤ人を許さぬ地上代行者。

私の使命はツフル人に逆らう愚者とツフル人を滅ぼしたサイヤ人を、その肉の最後の一片までも滅ぼし尽くすこと・・・」

謙信「ついに本性を現したか、化け物烏賊めが・・・!!」

謙信はそういうと、兼継に斬りかかった!

しかし、兼継はお札を使って謙信を切り刻み、壁に押さえ付けた!

謙信「ぐはあっ!!」

兼継「これでトドメだぁー!!」

兼継は謙信の首を切った!

綾御前「け、謙信――！！！」

大野ベビー「やっと倒したか・・・」

謙信「死んだと思ったか・・・？」

なんと、謙信は生きていた！

大野ベビー「まさに軍神・・・！！」

綾御前「謙信、大丈夫かい？」

綾御前は謙信に近寄った・・・。

謙信「越後を手に入れようとするとは・・・。甘いものだ・・・」

大野ベビー「ああ。甘かったよ・・・。

お前がな！！！」

謙信「なにっ！？」

謙信が叫んだ瞬間、いきなり綾御前が謙信を羽交い締めにした！

謙信「なっ！？離せ！！」

大野ベビー「残念だったな、謙信。お前が兼継と戦っている間に、綾御前をツフル人にしたのだ。

でも安心しろ。お前も姉と同じようにツフル人になるのだからな・
」

謙信「な、やめろ……。やめろおー！ー！！！」

ついに上杉謙信までツフル人となり、越後は大野ベビーの領土にな
ってしまった！

大野ベビー「越後はいいところなのか？」

島佐古「まっ、越後の米は天下無双にうまいご飯になりますよ？」

大野ベビー「ご飯……。たしか、そんな名前のサイヤ人が……」

島佐古「サイヤ人……。ツフルの敵だね。」

全く、大猿になってあらゆるものを破壊し尽くす……。お粗末な
策略だね」

越後が堕ちたという情報は、信玄の耳にも入った！

信玄「謙信公がツフル人になってしまったか……。」

次はわしが狙われるかもしれんのう……。」

信玄がそういつていると、くのいちがブルドックを連れてきた！

くのいち「このワンコの胃の中に入っていれば、大丈夫だと思うよ
！」

信玄「どうやって入るんじゃない?」

くのいち「じゃあ、フェンリルかケルベロスにする?」

信玄「もついいよ・・・。」

わしにカメハメ波が使えたら・・・。この際、マイクロ波でも・・・。
」

友蔵「イロハオエ、カメハメ波」

甲斐と清水市は平和である・・・。

・越後の悪夢（後書き）

今後の信玄のキャラが、ドラゴンボールの某武道家みたいになっちゃうかも・・・？

戦国無双3のキャラが出るため、下手すりゃ鷹丸も・・・！？

・結局はやられ役（前書き）

今度は、毎度毎度やられ役だったあの大名を攻めるようです。
話の最後のほうで、うれしいニュースが！

・結局はやられ役

越後をことごとく支配した大野ベビーは、新たな標的を決めた。

大野ベビー「こんどは、北条を攻めるぞ!!」

直江「上杉の次は北条ですか・・・」

大野ベビー「そうだ、お前の謀反っぷりは見事だったぞ。褒美に新たな力を与えてやる!!」

大野ベビーは、兼継にクラーケンの力を与えた!

直江兼継はイ兼継に進化した!

イ兼継「おお!力がみなぎって来るぞ!!」

大野ベビー様、ありがたき幸せ・・・!!」

謙信「ひどいな、兼継・・・」

イ兼継「俺は烏賊だ!!」

そんなこんなで、大野ベビー達は北条攻めを決行した!

一方、北条家はその知らせを聞いて、絶望に囚われた!

氏政「北条一族、バンザイ!!」(泣)

風魔「ククク・・・風と共に去るか・・・」

そんな中、北条の統領・氏康は強気だった！

氏康「氏政！！へたれるな！！！！

蛇だかべビーだかワカランが、返り討ちにしてやるっじゃねえか！！」

氏政「父上・・・！！」

すると、北条の雑兵がやって来た！

雑兵「殿！京の任天城から、援軍で鷹丸がやってくるとのこと！」

すると、氏康は雑兵の頭を掴んだ！

氏康「上出来だ・・・」

三時間後、大野べビー達が襲来してきた！

氏康「やって来やがったか・・・」

大野べビー「いつきに片付けてやる！！！！

大野デスボール！！」

大野べビーはデスボールを北条軍へぶつけた！！

北条軍は全滅した！

氏政「勝てる気がしない・・・」

氏康「おい！鷹丸はまだか！？」

雑兵「たしか、到着予定時刻は12月3日と・・・」

すると、氏康は雑兵の頭を掴んだ！

氏康「最悪だ・・・」

大野ベビー「氏康！降参してツフル人になる意思を見せなければ、この城もろとも吹き飛ばす！！」

大野ベビーの脅迫がこだますなか、氏康はあることを思い付いた！

氏康「こうなったら、ピッピカチュー！」

氏康はスロットをやりはじめた！

氏政「父上！？」

するとスロットからボールが出てきた！

氏康「No.144といえば、そう！フリーザじゃ！」

氏政「ちちちち父上ー！！？！？」

父親が訳わからんことを言い出したので、氏政は混乱した！

氏康「いけっ！フリーザ！！」

氏康はボールを投げた！

中からフリーザが飛び出した！

フリーザ「これはこれはおバカさん達・・・」

イ兼継「ふん、馬鹿はお前のほうだ！ハゲ！！」

フリーザ「くっ！お、お前だって烏賊じゃないか！！」

幸村「フリーザ！！斬り殺してやる！！！！」

幸村はそういうと、髪の毛を瞬時に金髪にした！

島佐古「おや？どういったカラクリで？」

フリーザ「貴様はトランクスカ！！？」

大野ベビー「なにっ！？こいつサイヤ人なのか！！！？？？」

幸村「でやあああっ！！」

真田流だぁー！！っ！！！！」

幸村は槍でフリーザを連続斬りにし、バラバラに粉砕した！

風魔「ふっ・・・」

小太郎は草を息で飛ばした！

なんと、フリーザが蘇った！

風魔「ククク……。世界樹の葉よ……」

フリーザ「絶対にゆるさんぞ虫けらども!!」

くらえ! デスビーム!!」

フリーザは政宗に向かってビームを放った!

政宗「なああっあ!?!」

輝宗「政宗! 危ない!!」

政宗の父・輝宗が、政宗をかばった! デスビームは輝宗を貫いた!

政宗「父上!!」

輝宗「政宗……。龍のように……。生きる……」

輝宗は死んでしまった!

政宗「うわああああっ!!」(泣)

フリーザ「ふふふ、あなたが強くなかったから悪いのですよ!

六刀流だったら、結果は変わっていたかもしれないがね……」

それを聞いたイ兼継はブチ切れた!

イ兼継「BASARAのことが……!!」

イ兼継はそういうと、シンケンオーと合体した！

イ兼継オー「名付けてイ兼継オーだ！！」

イ兼継オーは、口から冷凍ガスを放った！

フリーザ「か、体がぁー！！！」

フリーザはあつという間に凍ってしまった！

島佐古「名前がフリーザって言うのに、凍っちゃうなんて・・・お粗末ですねー」。

リフリジレーターって名前に改名するべきだね」

フリーザ↓リフリジレーター「はい・・・」

風魔「さて、リフリジレーターとやら・・・。粉碎して、ブルーハワイシロップでもかけてしまうか・・・」

氏康「くそ・・・」

小太郎が寝返り、氏康はあとすざりした！
すると、ギャルギャルしい女にぶつかった！

甲斐姫「どうしたんですか？」

氏康「おい！その伸びる刀で、奴を切り刻め！！」

すると甲斐姫はブチ切れた！！！！

甲斐姫「BASARAのパクリじゃねー！！！」

なんと甲斐姫までもツフル人となっていたのだ！

大野ベビー「覚悟しろ！オーキドボイスのソリッド・スネーク！！」

氏康「なっ、なあ・・・！
べぎあああつ！！！」

こうして、小田原は堕ちた・・・。

その頃、信玄は相変わらずへたれていた！

くのいち「お館様、どうします？」

信玄「こうなったら、義元公に助けを求めるか・・・？
今は林の如く静かに、山の如く動かずにいよう・・・」

大野ベビーの情報は信長の耳にも入っていた。

信長「・・・で、あるか」

その頃、福島正則は昼寝をしていた！
いびきがいつもよりうるさいので、ねねは正則を叱りに正則の部屋
へ押し入った！

ねね「こら！正則！いつもよりイビキがうるさ・・・。

正則！?どうしたの、その姿!？」

正則「ふにゃ?おねね様、どうしたのですか・・・?」

正則はそういうと、目の前の鏡に写っている自分を見て驚いた!

なんとそこには、モブの姿ではなくなった正則の姿があつた!

正則「やった・・・!ついにやったんだ!!」

俺は清正と同じように、モブじゃなくなったんだ――!!」

正則はそういうと、大はしゃぎした!

これを見ていたねねは、正則を叱る気が失せた!
・・・妙なリーゼントが気にかかったが・・・。

・結局はやられ役（後書き）

以前、『呪われし一族』で、福島正則を応援していたら・・・？
彼もまた、脱モブを果たしたようです。よかったな、正則！

BASARAの影響が見え見えだが・・・（苦

・脅威（前書き）

今回は大野ベビーではなく、（バイオ）プロリーが出てきます。
そして、史上最強のデデン が！？

・脅威

大野ベビー「北条も我らの手に堕ちた……。次は駿河だ……」

氏康「駿河！？ってことは今川義元と戦うことになるな」

大野ベビー「義元なんか、俺だけでも倒せるわ!!」

氏康「せいぜい気をつけろよ!!」

大野ベビー「大丈夫だと言っているだろ!!」

リフリジレーター「今川なんかに負けたら、さっさとドラゴンボールの世界に帰るからな!!」

大野ベビー「くっ!!こうなったら全力で勝つしかない!!」

大野ベビーは一人で駿河へと向かった。

その頃、まる子はミマツ屋で買い物していた。店の奥に妙な水槽があるのに気づいた!

まる子「ねえ、ミマツ屋のおじちゃん……。あそこの水槽に何を買ってるの?」

ミマツ屋「ああ、あの水槽にはね、ブロリーが入ってるんだよ!」

それを聞いたまる子は驚愕した!なぜなら、ブロリーが伝説の超サイヤ人だということを知っていたからだ!

まる子「おじちゃん！ブロリーが暴れたしたら、どうなるかわつて
るの？」

ミマツ屋「え？ブロリーって魚じゃなかったのかい？」

まる子はミマツ屋の言っていることが訳わからなくなり、店を出た。
すると偶然、永沢君と遭遇した！

まる子「永沢君！ミマツ屋にブロリーが！！ブロリーってたしか死
んだんじゃないかったの！？」

永沢「ブロリーは死んださ。僕の家と共に燃えたんだからな！」

まる子「じゃあ、あそこにいたブロリーはなんなのさ？」

永沢「あそこにいるのは花輪君が科学者に造らせたバイオブロリー
さ！

僕は家の焼け跡に遺っていたブロリーの髪の毛を花輪君に売ったの
さ。あとは花輪君が召し抱えている科学者が髪の毛を元にブロリー
を蘇らせたのさ！」

まる子「じゃあなんでミマツ屋にいるのさ！」

永沢「そんなこと僕には関係ないね！今忙しいんだ、話は後にして
くれ」

永沢はそういうと、どこかへ行ってしまった！

まる子「どうしよう・・・」

まる子が戸惑っているころ、ミマツ屋では・・・。

ミマツ屋「この魚、どんなご飯を食べるのかな？」

ブロリー「カカロットの息子・・・？」

ミマツ屋「おや？どこからか声が聞こえたような・・・。もしかして、アスパラガスを食べるかな？」

ブロリー「親父イ・・・です」

ミマツ屋「さつきから誰だ？とりあえず、今ある野菜・・・。人参しか持ってねえ！」

ブロリー「カカロット・・・カカロットー！！！！！」

ブロリーはそう叫ぶと、水槽から出てきた！すると、ブロリーの体はドロドロになり、う。こみたいな姿になった！

ミマツ屋「冗談でつぶやいたら本当に出てきちゃったよ！
ってか、腐ってやがる・・・。早過ぎたんだ・・・！！！！！」

ブロリー「ダメレ・・・！！！」

ブロリーは目からビームを放ち、ミマツ屋を店主ごと吹き飛ばした！

ブロリー「フハハハハ！！！」

ブロリーは町をブラブラした。すると、野口さんの兄とその彼女に

遭遇した！

ブロリー「コン・・・ニ・・・チハ！」

しかし、野口兄はシカトした！

ブロリー「ナニイ！？」

野口兄「律儀にあいさつするなんて、だっせー」

彼女「野口さん、ステキ！」

ブロリー「又ウウウ・・・！！！」

すると、近くにいた少年も野口兄に挨拶したが、その挨拶は異様なものだった！！

竹中「こ」

野口兄「なんだ、このガキは！？何が言いたいんだよ？」

竹中「“こんにちは”を略して言ったのさ！」

野口兄「なんだそりゃ！？今時のガキはロクに挨拶も出来ないのか？」

竹中「人のこと言えないんじゃない？」

野口兄「けっ！生意気なガキだ！！全く・・・日本の未来が心配だぜ」

野口兄はそう言い放つと、彼女と一緒に歩きだした！

ブロリー「ブジニカエレルト、イイナア・・・！！」

ブロリーはそういうと、エネルギー弾を放った！

悟空「お前（もちろん、野口の兄）を生きて帰すわけにはいかねえ！！

カメハメ波ーーーー！！！！」

ベジータ「ビックバン・アタック！！」

悟飯・未来トランクス「ませんこーーーー！！！！」

パラガス「（やられ役と）勘違いするな・・・。（ポワーン」

ベジータ王「お前（野口兄）のような奴がいるから（世間は）困るのじゃ。

だから、あの世へゆけい！！！！（ビーム」

ターレス「とにかく死ぬえ！！（わっか状のビーム」

ゴテンクス「スーパーカミカゼサムライアタック！！（特別版」

ラディッツ「ダブルサンデー！！！！」

ナッパ「クンッ！」

バーダック「これで、最後だーーーー！！（エネルギー弾」

サイヤ人の技が一つとなったスーパーサイヤジンバーゲンセールア
タックが野口兄と彼女にヒットした！

デデデデデデデデデデーーーーーーンンンン
ンンンンン！！！！！！！

ベジータ「きたねえ花火だ……。それにしても、さっきの技はサ
イヤ人のバーゲンセールだな……」

竹中「全く、最近の若い子は礼儀がなっていないなあ……」

ブロリー「オマエモ、ワカイコ……。デス……」

竹中「君、よかったら俺について来ないか？」

ブロリー「しよたニツイテイクコトナド、デキヌウー！！！！」

竹中「ついて来たら、“あの人”に会わせてあげるよ？」

ブロリー「かかろつとカ？ふふふふ！！！！」

ブロリーは竹中半兵衛についていくことに。はたして、ブロリーは
どうなってしまうのか？

そして、ブロリーが復活したことを知らない大野ベビーは、戦国の
世を終わらせることが出来るのか……？

・脅威（後書き）

今川義元はケマリが大好き。

大野ベビーはサッカーが大好き。

この勝負、どうなってしまうのか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6372i/>

大野ベビーの野望

2010年10月15日00時45分発行